

山梨県入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和6年8月26日 13時30分から15時30分まで 防災新館 406会議室	
委員	委員長：武藤 慎一（山梨大学大学院教授） 委員：猪狩 学（弁護士） 鈴木 優典（山梨学院大学教授） 松浦 芳恵（一級建築士）	
審議対象期間	令和6年4月1日～令和6年6月30日	
総契約件数	97件	(備考) 審議件数 ・一般競争入札 6件 ・随意契約 1件
一般競争入札	93件	
(総合評価)	(62件)	
通常指名競争入札	3件	
随意契約	1件	
指名停止状況	7件	
私的独占又は不当な取引制限に係る情報処理状況	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	審議した7件については、適正に処理されている。	

別紙

《抽出事案の審議》

1 [一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査型）]

〔中北林環事-24-0024 林道南アルプス線(アックリ沢工区)改良工事〕

〈工事概要〉

林道改良 L = 94 m、W = 4.0 m、落石防護網工 A = 1,546 m<sup>2</sup>

〈予定価格〉

予定価格 31,929,700円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 県内
- ・競争入札参加資格 とび・土工工事業
- ・企業の施工実績 落石防護工を含む請負金額1,000万円以上のとび・土工・コンクリート工事。  
ただし、元請として請負い平成21年4月1日から入札参加資格申請締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 なし

〈質疑応答〉

Q) 直接関係ないかもしれないが、今、この林道止まっていますよね。三好沢で崩落があって、2019年ですか。そこの工事は進んでいるのか。

A) 委員ご指摘の通り、令和元年、いわゆる東日本台風で当該工事のすぐ先が崩れて、三好沢まではいけるがその先はずっと通行止めが続いている。崩れたところの対処は治山事業であり林野庁が施工するというので、今、我々は林野庁と連絡を取り合っている。ただ、場所が場所であるため、調査についても不調が続いており、まだ上部法面の治山工事が仕上がっていない。林道は上下関係となり、上の施工が終わらないと落石等もあって危険なので下の施工ができない。国の施工の進捗状況によるところだが、今のところまだいつ頃という目処が立たない。

Q) 再開することを見越して、この林道を維持するということでの施工か。

A) はい。

Q) 1社が辞退というのはなぜか。

A) この業者は入札参加のときは、参加の意思を示したが、その後の応札は辞退した。辞退理由書によれば、本工事の施工体制が整わず、施工が困難と判断したとある。聞き取りをした結果、当該工事に配置を予定していた技術者はこの時点ではまだ前の工事に就いており、その工事を終えて当該工事に入る予定でいたが、前工事が工期延長され、当該工事には入れなくなったとのことである。

Q) 参加業者2社であったが、結果的には応札は1社になってしまった。

A) はい。

2 [一般競争入札 (総合評価落札方式) (事後審査型)]

〔**峡東林環事-24-0039 林業専用道鈴庫山1号支線開設工事 (余フ)**〕

〈工事概要〉

林業専用道開設 L=186m W=3.6m、土工 V=2,361m<sup>3</sup>、路盤工 A=663m<sup>2</sup>、擁壁工 (鋼製L型擁壁) A=214m<sup>2</sup>、法面保護工 (種子散布工) A=454m<sup>2</sup>、法面保護工 (特殊植生基材客土吹付工) A=819m<sup>2</sup>、法面保護工 (モルタル吹付工) A=250m<sup>2</sup>、排水施設工 (横断溝) L=5m、排水施設工 (木製路面排水工) L=10m

〈予定価格〉

43,976,900円 (消費税含む)

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 峡東林務環境事務所管内
- ・競争入札参加資格 土木工事業 A又はB
- ・企業の施工実績 1千3百万円以上の道路工事  
ただし、元請として請負い平成21年4月1日から入札参加資格締切までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 予定価格が8千万円未満のため不要

〈質疑応答〉

- Q) 確認だが、県道平沢千野線から横に伸びている道路と繋がったのか。  
A) いいえ、違います。
- Q) 平面図だと下が既設区間と書いてあるが。  
A) 位置図と平面図は方角が逆になっており位置図は北が上だが平面図は北が下である。
- Q) 北東側から入ってきた道を延長しているということか。  
A) そうです。
- Q) 林道って大切ですよ。県産材を運ぶ道路がないと困る。

3 [一般競争入札 (総合評価落札方式) (事後審査型)]

〔**峡南林環事-24-0018 林道貫ヶ岳西線開設工事 (余フ)**〕

〈工事概要〉

林道開設 L=88m、W=4.0m、土工 V=2,660m<sup>3</sup>、路盤工 A=47m<sup>2</sup>、法面保護工 (特殊植生基材客土吹付工) A=222m<sup>2</sup>、法面保護工 (モルタル吹付工) A=540m<sup>2</sup>、法面保護工 (種子散布工) A=1,241m<sup>2</sup>、安全施設工 (カーブミラー) 1基、排水施設工 (木製路面排水工) L=8m

〈予定価格〉

40,133,500円

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 峽南林務環境事務所管内
- ・競争入札参加資格 土木工事業 A又はB
- ・企業の施工実績 1千2百万円以上の道路工事  
ただし、元請として請負い平成21年4月1日から入札参加資格締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 予定価格が8千万円未満のため不要

〈質疑応答〉

- Q) 林道の開設工事は特別な技術や機械が必要か。  
A) 山の急斜面を片押しで延伸していくので工事的には難易度の高い、少し特殊な工事。
- Q) 参加資格でいくと49社あるが、この工事に関して応札可能な業者は実際にはもっと絞られるか。  
A) 49社が今回の参加資格要件を満たしている業者だが、実質、林道の工事を主にやっている業者になると更に絞られると思うが、49社は技術的には可能な業者と考えている。
- Q) 既設箇所がかなりあるようだが、従前の施工者が継続して受注することが多いのか。  
A) そうですね。今年度も前年度も同じ業者が落札している。
- Q) 施工の実績としては安心という部分はある。  
Q) 落札業者は施工場所から比較的近い業者と思うが、ここ以外に比較的近くの業者はいないのか。  
A) 今回の49社のうち南部町内には5社あり、同じ地内にももう1社ある。
- Q) 施工場所と会社が近いと選ばれる傾向があるか。  
A) 施工場所に会社が近いところが参加してくる傾向はある。特に林道工事の場合は条件の悪い遠隔地の急峻な場所での工事であったりして経験値等が絡んでくるのでそうした業者が参加してくる傾向にある。
- Q) このように山になっている部分を削るのか。  
A) 山には平らなところもあるが、道幅を確保するためには大きくカットしなければならない部分もある。
- Q) 残土の処理もしなければなりませんよね。  
A) 当然現場の中で処理の方法も決めて、ということになる。

4 [一般競争入札 (総合評価落札方式) (事前審査型)]

**〔道路整備課-24-0005 (主) 市川三郷富士川線富士橋旧橋撤去工事その1 (一部債務)〕**

〈工事概要〉

旧橋撤去工 (上部工)、架設桁設置撤去工 一式、架設用部材制作工 一式、歩道橋縦取引戻工、L=120m  
W=103t

〈予定価格〉

491,238,000円 (消費税含む)

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 (代表構成員) 指定なし、(構成員) 指定なし
- ・競争入札参加資格 (代表構成員) 鋼橋上部工事 総合評定値900点以上  
(構成員) 鋼橋上部工事 総合評定値900点以上
- ・企業の施工実績 (代表構成員) 重量50t以上の鋼橋上部工制作及び架設工事。ただし、元請として請負い平成21年4月1日から入札参加資格締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。  
(構成員) 重量30t以上の鋼橋上部工制作及び架設工事。ただし、元請として請負い平成21年4月1日から入札参加資格締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 (代表構成員) 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する者
- ・配置予定技術者の施工実績 (代表構成員) 完成時に監理技術者、管理技術者補佐、主任技術者、担当技術者(完成時にCORINSに登録された者に限る)又は監理技術者資格者証を有した現場代理人(完成時にCORINSに登録された者に限る)として平成21年4月1日から入札参加資格申請締切日までに「企業の施工実績」と同様の施工従事経験を有する者

〈質疑応答〉

Q) 40JVというのはどのようにカウントするのか。

A) 入札参加資格の鋼橋上部工事総合評定値900点以上を満たす業者が80社あるので、単純に2で割って40JVである。

Q) 県内に入札参加資格の鋼橋上部工事総合評定値900点以上を満たす業者はあるか。

A) 2社ある。

Q) 旧橋は古く架け替えが必要であったと思う。中部横断自動車道の六郷ICから富沢IC間が無料区間ということもあり、六郷ICを利用する交通量は増えたと思うが、富士橋の交通量に変化はあるか。

A) 交通量については調査中であるが、中部横断自動車道が開通した当時は、県道9号(市川三郷身延線)を北進する交通量が多かった。しかし、六郷町内には幅員が狭小で大型車両のすれ違いが困難な区間があるため、富士橋が架け替えられてからは、一度富士川を渡り、国道52号を北進し、富士橋を通行する交通量が増加している。

Q) 六郷町内の道路整備によって交通の流れが変わるため、そこを見据えてやってほしい。

A) 承知した。

## 5 [一般競争入札(総合評価落札方式)(事前審査型)]

[営繕課-24-0012 やまなしスタートアップ支援拠点改修電気設備工事(明許)]

〈工事概要〉

やまなしスタートアップ支援拠点、鉄筋コンクリート造5階建て 延べ面積2,467.95㎡の改修に伴う電気設備工事

・電灯、動力、受変電、発電、拡声、誘導支援、監視カメラ、火災報知、構内情報通信網、構内配電線路の各設備

〈予定価格〉

197,230,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 (代表構成員) 県内 (構成員) 県内
- ・競争入札参加資格 (代表構成員) 電気工事業 A (特定) (構成員) 電気工事業 A
- ・企業の施工実績 (代表構成員) 9千万円以上の建築物の電気工事

ただし、元請として請負い平成21年4月1日から入札参加資格申請締切日までに完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

- ・配置予定技術者の資格 (代表構成員) 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する1級電気工事施工管理技士又は同等以上の資格を有する者

〈質疑応答〉

Q) 建物の改修はどこがやっているか。

A) 内部については今回の落札業者とは別のJVである。外壁などの外部についてはまた別の業者である。

Q) 分けているのですね。

A) はい。

Q) 構内情報通信網ということだと、LAN設備だと思うが、配線は現在カテゴリでいうと5とか6を使うのか。

A) 最新のもので6を使う予定である。

Q) このような施設は外のインターネットとどれだけ強く繋がるかが重要なので、これからも通信量が増えると思うので、後々あまり工事等が必要にならないようなものを入れるのがよいと思う。6ならばよいと思う。

## 6 [一般競争入札 (事後審査型)]

[中北建設事-24-0073 曾根丘陵公園外 公園施設整備工事 (余フ)]

〈工事概要〉

防災公園案内サイン整備 N=31箇所、(新規2基:緑が丘スポーツ公園)、(新規10基:曾根丘陵公園)、(追記19基:曾根丘陵公園)

〈予定価格〉

10,021,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 県内

- ・競争入札参加資格 造園工事業
- ・企業の施工実績 請負金額5百万円以上の造園工事。ただし、元請けとして請負い平成21年4月1日から入札参加資格締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 なし

〈質疑応答〉

- Q) これはサインの製作は入っていないということか。設置のみか。
- A) 製作も入っているが、これはメーカーに外注することになる。板と支柱のものもあるし、シールタイプのものもある。それを現地で設置する。
- Q) なかなかいい金額するものですね。金額の決め方は。
- A) 一般的な道路標識のようなものは、刊行物にある程度のっているが、このような特殊なものは特殊資材調査をするなどルールにのっとって決定している。
- Q) 一番大きいものはいくらするか。
- A) 直接工事費で約16万円ぐらいである。
- Q) 内訳でいうと、基本的な工事としては板を製作して、450ミリ幅の穴を掘って看板を立てる工事というのにどれくらいもうかるかというところですね。
- A) メーカーに頼まなければならないので、儲けがそんなにないのかなというところではある。
- Q) 2社参加したが、1社しか応札しなかったのか。理由は。
- A) 一般事後なので辞退理由は求めているが、推測するにメーカーに求めなければならない部分、自分のところで工夫できない部分にお金がかかるため儲けがないという工事で敬遠されたのではないか。
- Q) 看板を立てる際、舗装されている部分に立てる場合と舗装されていない部分に立てる場合で金額が変わってくるのか。
- A) 舗装取り壊しがあれば当然舗装取り壊しの費用もみるので金額は変わってくる。

7 〔随意契約〕

〔富東建設事-24-0053 (一) 富士河口湖富士線 災害応急復旧工事〕

〈工事概要〉

土砂撤去工 V=1,100m<sup>3</sup> 大型土のう設置 N=178個、仮設防護柵 一式

〈予定価格〉

14,399,000円(消費税含む)

〈随意契約の理由〉

本業務は、令和6年4月9日の豪雨により発生した雪崩・土砂崩落に対し、応急対策工事を緊急に実施するものである。災害時における応急対応業務については、山梨県と一般社団法人山梨県建設業協会とで「災害時における応急対策業務に関する基本協定書」を締結しており、協定により派遣された業者が当該箇所の業務を担当することになった。よって、地方自治法施行令第167条の2第1項第5号の規定に基づき、当該業者と随意契約するものである。

〈質疑応答〉

Q) 今回は協定の中のどのような条項に基づいて対応しているのか。

A) 県と山梨県建設業協会とで災害時における応急対策業務に関する基本協定書を締結しており、その中の細目協定に基づいて依頼をし、協会からこの業者を担当とするという回答がくる。

Q) 協会に依頼書を出して、協会のほうで一本釣りのような形でこの業者さんにやってもらうことにしますという流れか。今後も緊急の応急対策工事はこの流れなのか。

A) そうです。国交省のガイドラインがあるので、全国的にこのような流れではないか。

Q) 随意契約の落札率というのはどのような意味か。

A) 今回落札率については、99.31%です。

Q) 予定価格というのはどういうことか。

A) 工事概要のとおり、4月9日に災害がおこり、12日から現場に入って、その間は作業内容や土の量などもわからないため、ある程度作業が進み、4月22日に作業内容がわかったところで通常の積算作業を行い、電子入札という流れ。

Q) 随契でも公共事業ポータルサイト経由で処理をするのか。

A) そうです。

Q) 今現場は応急工事をやっているのか。

A) 応急工事はだいたい終わっている。ただ実際は写真があるように、法面にロックネットを張る必要があるが、応急なので大型土嚢をつめこむくらいのことしかしていない。国の災害査定を6月5日に受けて、今、工事執行をかけている状況。

Q) スバルラインはどうしても雪解けで崩れたりするが、通行に支障がでる程度のものは年間にどれくらいあるか。

A) 大規模なものは数年に一回くらい。

Q) 法面が崩れるとだいたい随契にしているのか。

A) 最近だと3年前に五合目手前でスラッシュ雪崩があった。そのときも随契で対応している。

Q) この場所の一部については入札手続きをとって工事をするのか。

A) あくまでも応急の部分について、随契している。それ以外は通常の入札手続きとなる。

Q) 今回はスバルラインだが他の場所についても災害復旧の場合はこのような対応になるのか。

A) 必要に応じてこのような手続きになる。

Q) 最近激しい雨などもあるので、あらかじめ協定をしっかりと結んでいただいて、対応いただければ安心である。

《全体を通しての意見》

・なし

以上